



十勝支部 支部長  
谷川 秀治

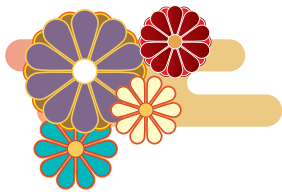
新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、今年も、昨年のコロナ禍を乗り越えて益々の活躍のことと存じます、

十勝支部の昨年は、コロナの影響を受けて、支部としての行事をほとんど実行することはできませんでしたが、年初に帯広市と「災害時における被災者支援のための行政書士業務に関する協定」を締結し、さらに十勝町村会会員各自治体とも帯広市同様の災害支援に関する協定を締結いたしました。また、災害時に支援活動を実施する災害支援員の登録業務も実施いたしました。

本年は、いつ来るかわからない災害に対する備えとしての準備活動を充実し、「町の身近な法律家」として、地域住民の暮らしに役立てるよう、支部会員及び役員一丸となって活動してまいります。

結びに、会員の皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。



苫小牧支部 支部長  
土井 光博

明けましておめでとうございます。令和3年を迎え、全道の会員の皆様におかれましては、益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は私たちの経験したことのない、コロナウイルスによるパンデミックが興り東京オリンピックの延期や感染拡大により国内経済に深刻な打撃を受けました。世界各国でワクチンの開発も進んでいますが、安全性や有効性、国内での供給性など、まだまだ不透明なところが有ります。今、私たちに出来る事は、個人個人の感染予防を徹底して、「コロナにかからない。うつさない。」行動が重要となります。

さて、苫小牧支部の事業につきましては、5月の総会は、書面総会となり懇親会、レクリエーション等も中止となりました。研修会は、ズームを利用して1回と対面式が1回開催しました。広報関係の事業は、例年どおり無料相談会の開催、関係官庁へのポスター配布等も行いました。

令和3年度の苫小牧支部の方針については、コロナ収束を願いながら無料相談会等を通じて、行政書士の周知に努める他、会員の要望に合うような研修内容にして、多くの会員が参加できる研修会にしたいと思っています。

令和3年度が会員皆様にとって、さらなる飛躍の年でありますよう、ご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

